

# 蕨12 広報WARABI

2009/平成21年  
わらび・698

- 平成21年12月1日発行 / 発行所・蕨市役所
- <http://www.city.warabi.saitama.jp/>
- 蕨市の面積 5.10km<sup>2</sup>
- 11月1日現在人口：72,030人 前月比 +39人  
男 36,854人 女 35,176人  
世帯数：35,668  
人口密度：14,123人/km<sup>2</sup>



歩みつづけて50年 蕨に笑顔 輝く未来



## 冬の日ざしをいっぱい浴びて 「おいしくなれ」干しダイコン

住宅に囲まれた錦町の一角で、みごとなダイコンを干していたのは蕨市農業委員会会長の奥田光由さんご夫妻。畑で採れた75本のアオクビダイコンを束ねて、10日間天日干し。甘味が凝縮され、おいしいたくあんへと生まれ変わります。今から出来栄えが楽しみです。

## 目次

- 市制施行50周年記念式典… 2
- 特集：国際交流…………… 4
- 田んぼの学校…………… 8
- レポート そここが知りたい…10
- いきいきシルバーライフ…12
- 蕨いま むかし……………12
- 親と子のニュースの小窓…14
- 輝いていま ひと……………16



式典に749人出席

蕨市市制施行50周年記念式典が、11月1日に市民会館で開かれました。市民の皆さんをはじめ、50周年を祝い、蕨まで駆けつけてくれた姉妹都市アメリカ・エルドラド郡、友好都市ドイツ・リンデン市の皆さんなど、749人の出席者で会場は満席です。来賓には上田清司埼玉県知事をはじめ、神保国男戸田市長、高山智司衆議院議員など、9人のかたにお越しいただきました。

蕨市市長の式辞の後、来賓の皆さんのごあいさつ、そして、「未来の蕨」の作文を寄せてくれた小学生が、「えがおいっぱい日本一」を元気に朗読されました。

まちの功労者を表彰

自治功労者表彰・感謝状の表彰式では、長年にわたる公職を通じ、または市民として蕨市の発展に貢献されたかたを表彰。表彰の部、受賞者9人を代表して福島敏夫さん、感謝状の部では18人を代表して伊藤葉子さん、50

周年感謝状の部では受賞者625人を代表して、9人のかたが登壇し、賞状を授与されました。また、50周年を記念して、シンボルマークや標語、作文募集に応募された子どもたちも特別賞を受賞。「けやき文化賞」では、蕨市写真連盟会長、半澤義和さんが受賞されました。

海外からも祝いに

式典後半には、エルドラド郡ブラザビル市長代理のジョン・カーペンターさんと同郡議会からのメッセージをお持ちくださったマーナ・ハンセスさん、リンデン市からは市議会議長のヨルク・クニニックさんがお祝いのメッセージを。また、世界吹奏楽コンクール・マーチングバンド部門で世界チャンピオンにも輝いたリンデン市自衛消防音楽隊「ミュージックコープス」の皆さんのすばらしい演奏が式典をおおいに盛り上げてくれました。こうしてたくさんの方の祝福を受けた蕨市は、市民の皆さんとともに新たな一歩を踏み出しました。





# 人と人が支え合う 姉妹都市と友好都市

市制施行50周年記念式典(2、3頁参照)には、外国からも多くの皆さんが  
お祝いに駆けつけてくれました。それは、「蕨・エルドラド姉妹都市協会」が  
アメリカ・エルドラド郡と姉妹都市として、「蕨・独リンデン市民交流協会」が  
ドイツ・リンデン市と友好都市として、30年以上にわたって市民交流が続いて  
いるからです。この4、5頁では、姉妹都市と友好都市の交流をご紹介します。

## 市民交流続けて34年 相互理解で平和に貢献

アメリカ合衆国カリフォルニア州エルドラド郡との交流は、昭和49年、同郡ブラザビル市からマーナ・ハンセスさんが郡議会の姉妹都市締結の申し入れ議決書を持って来蕨されたことから始まりました。これは、アイゼンハワー元大統領が推奨している「人と人とのまじわりプログラム」(People to People Program)に添ったものでした。

国を超えた人との交流を進め、互いに理解し合うことで世界平和に貢献しようというこの活動に、当時の金子吉衛市長が共感し、推進。昭和50年3月、議会の「姉妹都市締結」の議決を受けました。翌51年6月には市民が主体の蕨・エルドラド姉妹都市協力会(以下「協力会」)が誕生しました。協力会による姉妹都市交流は、今年で34年目。この間、相互訪問や受け入れ事業のほか、交換教師や講演会の開催など、幅広く活動を行っています。こうした市民間の親善友好交流が、世界平和に多大な貢献を果たしたとして、マーナさんは平成12年2月25日に「彩の国際交流貢献賞」を受賞。19年11月3日には両市・郡民の交流を推進されてきたことから、市の文化功労者に贈る「けやき文化賞」を受賞されました。市制施行50周年記念式典(2、3頁参照)には、マーナさんほか、12人がお祝いに訪れました。これは、長年交流を続けてきた協力会とエルドラド郡の深いきずなががあるからです。

## 姉妹都市エルドラド 面積は蕨市の約900倍

姉妹都市エルドラド郡はどんなまちなのかご紹介しましょう(5頁図①)。  
エルドラド郡は、カリフォルニア州の中央部、シエラネバダ山脈のふもとにあり、森と湖に囲まれた美しいまちです。面積は蕨市のおよそ900倍で人口は約16万人。農業が主な産業です。



People to People International  
エルドラド郡支部会長  
マーナ・ハンセスさん

## 人々のつながりを実感

蕨市とエルドラド郡の姉妹都市は、今とてもよい関係にあると思います。交流を始めた当初は、少人数が行き来するだけの小規模なものでした。市制施行50周年記念式典に多くの人が参加したのを見ると、これまで、若者や教師など、いろいろな立場の人たちが、着々と交流を成長させてくれたと感じました。  
私の友人の孫が、来年の夏は、いっしょに蕨で過ごしたいと言ってきています。それは、人と人とのつながりが、いろいろなところで出来ている、これだけ大きなものになっているあかしです。

## できることから交流を

交流は「できることを行うこと」がたいせつです。来蕨の際には、日本の生活を知ってもらうことが大事なので、構える必要はありません。訪問時には、その国が誇りと思うものを見て理解することです。それらが相互理解と友好関係を深めていきます。  
また、微力でも1人1人が草の根外交を繰り返すことが世界平和の寄与につながります。協力会では、今後、その力を若い世代に発揮してもらいたいと考えています。それは、マーナから受け取った「ピープル・トゥー・ピープル」でもあるからです。



蕨・エルドラド  
姉妹都市協会会長  
向井 昌子さん

## 市民の力で交流を推進

交流協会の発足当時は、働き盛りの年代でもあったため、無我夢中で交流を行っていました。ドイツ人を受け入れた当初は、そばをナイフとフォークで一生懸命食べようとする人がいたり、訪問時には水が炭酸水しかなく、困惑したりなど、約30年でバック旅行では味わえないたくさんの経験もできました。  
スポーツ少年団の交流で、リンデン市の青少年を民泊させたことからはじまった交流は、今も2年ごとに行っています。今後も、交流協会では、市民どうしの力で交流を進めていきたいと思っています。



蕨・独リンデン  
市民交流協会会長  
あだち ただし  
笠井 忠司さん

## 交流の実績を次世代へ

昭和52年に初めて蕨市を訪れてから、19回訪問しています。蕨に来るときは、ほかの国に行くというよりも、故郷に来るという感覚です。それだけ蕨の人たちが、さまざまなことを行っているからだと感じます。  
リンデン市から交流協会を通して、今まで約500人もの人が蕨を訪れていますが、いつも私たちへのもてなしのすばらしさを感じます。こうした市民レベルの交流は、モデルになることでしょう。今後、30年以上にわたって培ったきずなを次世代へつなげていきたいと思っています。



独日協会  
リンデン・蕨会長  
ギンター・ヴァイスさん

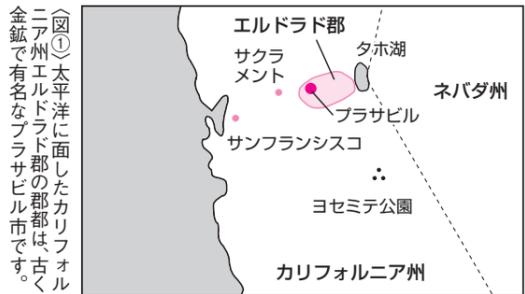
## スポーツの市民交流 変わらぬ温かな友情

ドイツ連邦共和国リンデン市との交流は、日独スポーツ少年団の交流がきっかけでした。昭和52年7月に蕨市スポーツ少年団は、来日中のドイツ・ヘッセン州代表の青少年22人と指導者のギンター・ヴァイス夫妻を迎え交流を深めました。夫妻は心温まる歓迎に感謝すると同時に、在住のリンデン市と蕨市との市民交流を、当時同スポーツ少年団本部長で前市長の田中啓一氏に提案。青少年を含めた幅広い交流のためにと了承されました。  
その後、蕨・独リンデン市民交流協会(以下「交流協会」)が、昭和54年1月に発足。市民の有志が集まって結成し、今年まで友好都市として2年ごとの相互訪問を基本に行い、交流を続けています。平成14年10月には、両市と両市議会が更なる友好を深めようと、盟約書を交わしました。  
交流の端を発したギンター・ヴァイスさんは、

平成14年11月、両市の文化交流を長年支えてこられたとして「けやき文化賞」を受賞。19年11月には、日本・ドイツ国間の友好親善に寄与したとして国の「外国人叙勲」を受賞されました。  
今年で交流32年目の交流協会とリンデン市。市制施行50周年記念式典には、ヴァイス夫妻をはじめ、議会関係者33人、そして世界吹奏楽コンクールで優勝の実績を誇る自衛消防音楽隊34人がお祝いに来蕨。音楽隊は式典をはじめ、宿場まつりなどで演奏を披露して、多くの市民を喜ばせていました。

## 友好都市のリンデン 市シンボルは菩提樹

友好都市リンデン市がどんなまちなのかご紹介しましょう(下図②)。  
リンデン市は、ヘッセン州にあり、フランクフルト市から北へ約60キロの静かな住宅都市。面積は蕨市のほぼ4.5倍で人口約1万2000人。まちの教会横に茂る菩提樹(リンデン)の大きさが、市の名前になっています。



## 国際交流のすばらしさ 「WICA」で伝えたい

ますだ あゆみさん  
増田 亜由美さん  
北町4丁目在住



現在、大学でドイツ語学を専攻したり、外国の友人がいたりするのは、若者が国際的視野をはぐくみ、国際平和に寄与しようとアメリカやドイツなどで開催する「国際青少年キャンプ」に参加できたことがきっかけです。こうした経験は市をはじめ、協力会や交流協会による長年の交流があったからこそと感謝しています。  
今後は、より多くの人に国際交流のたいせつさを知ってもらおうと発足した「WICA」(蕨・インターナショナル・カルチャー・アソシエーション)の一員として、在住外国人を含めた交流を行いたいと思っています。

# ほっと・エッセイ 26

## 蕨市初の女性議会

市長 頼高 英雄

先日、市制施行50周年記念事業の1つとして、蕨市初の女性議会が行われました。今年で創立20周年を迎える男女平等推進市民会議の皆さんが中心となって準備を進め、公募のことも含めて18人の女性議員となり、6人のかたが一般質問を行いました。

障害者のショートステイや保育の充実、バリアフリーのまちづくり、子どもと携帯電話、福祉教育、ワークライフバランスなどの問題が取り上げられ、いずれも生活実感に根ざした女性ならではのすばらしい質問でした。私は、皆さんの熱心に取り組む姿を見て、単なるイベントに終わらせずに、質問に対して真剣に答弁し、今後の市政に生かしていく、そんな姿勢で女性議会に臨みました。

今年、女性差別撤廃条約の国連採択から30年、男女共同参画社会基本法が制定されて10年、そして、蕨市男女共同参画パートナーシッププラン、後期

計画のスタートの年です。これまで、蕨市が行ってきた先進的な男女共同参画社会づくりの取り組みを、今後いっそう市民の皆さんとともに、進めていきたいと思います。

お便りお待ちしております

蕨市役所  
秘書広報課広報広聴係  
〒335-8501 蕨市中央5-14-15  
TEL 433・7703 FAX 445・0586  
E-mail hisho@city.warabi.saitama.jp

「広報蕨」へのご意見・ご感想のほか、身近な楽しい話題や催しなど、どんな話題でもけっこうです。お便りお待ちしております。

## =私が思う多文化共生=



りゅう ぶんてつ  
劉 文哲さん  
中央3丁目在住

中国から来て1年目。今は、仕事のために日本語を勉強中です。もう少しうまく会話ができるようになったら、近所の皆さんと仲よくなって、地域にも参加したいと思います。



いながき りえ  
稲垣 理恵さん  
錦町5丁目在住

クラスに韓国や米国の子がいて、子どもどうしが友達なので、親も自然と仲よくなります。文化や習慣の違いを教え合うことができ、互いに得るものが多いと感じました。



蕨市聴覚障害者協会  
なりた のぼる  
成田 昇 会長

聴覚に障害があるため、交流するのは少し難しいかもしれませんが、機会があれば、いろんな文化に触れてみたいし、お互い協力し合える関係を築きたいと思っています。

ボランティアの皆さんがいらっしやいます。例えば、公民館で日本語の日常会話や広告の読み方などを教えていただいている日本語のボランティアの会の皆さんです。また、日本の文化に触れてみたいと、蕨市柔道連盟には多くの外国人が入会しています。同連盟では、柔道を通して、礼儀も教えています。こうした団体の地道な活動が、外国人を地域の一員へと後押ししてくれています。異文化を認め、協力し合う心が「多文化共生」のまちづくりにつながっていきます。皆さんもできることから始めませんか。



約20か国の人が参加した「みんなのひろば」は来年2月にも開催予定です

特集：国際交流  
多文化共生

# 互いに認め、協力し合う 多文化共生のまちづくり



家族3人で診道に打ち込むランゲージ・コンサルタントのダンさん(カナダ)

**在住する外国人比率  
市民の約21人に1人**  
蕨市に在住している外国人は、現在、3513人(平成21年11月1日現在)で、総人口の4.9%、市民の約21人に1人が外

国人です。10年前には約36人に1人でしたから、今では、18倍も増えています。国籍別では、中国がいちばん多く1907人。次いで韓国・朝鮮の587人。そしてフィリピン、

バンングラデシュ、アメリカと続き、上位5か国で外国人全体の約87%になります。市民の皆さんの近隣には、外国人のかたが増えていることと思います。そこで、異なる文化や生

活習慣について、お互いに理解を深めていくことは、これまで以上に重要な課題となっています。外国人にとっても、安心して快適に暮らせるまちは、市民全体にも望ましいまちの在り方です。また、外国人を単なる支援や交流の対象ではなく、国籍や民族などの異なる人々が、互いの文化的違いを認め合うことや、同じ地域の構成員として、対等の関係を築きながら社会参加を促す「多文化共生」という取り組みが、今、求められています。



旭町公民館で活動する日本語ボランティアサークルワラビの皆さん。約20人の外国人のかたが学んでいます(右写真)。生徒たちに人気のジェニファアーさんは、中学校の英語指導助手の1人です(写真左)。

# 田んぼの学校



## 姿消した田んぼ復活

～日本一過密な都市わらびで新たな試み～

### 大きな水たまりから

錦町4丁目、第二中学校の南側にある田んぼの学校に行くのと、プールくらいの大きな水たまりがありました。

6月21日のその日は強い雨。「でも、昔から田植えの時は、こんな日が多かったんだって。みんな泥んこになって、ぐにゃぐにゃの地面に足を滑らせながら苗を植えました。「こんなに軟らかい所で稲が育つのかな」。この日から、学校の帰りに稲の生長を見るのが楽しみになりました。「みんなどこからやって来たの」。田んぼではヤゴやバッタ、アメンボなど、たくさんの虫を見つけてきました。自然を取り戻すと、こんなにも生き物が集まってくるんだ。

照り付ける日差しを浴びながら、ちっちゃく咲いた白い花も観察しました。「稲にもこんなに花が咲くんだね」。

台風の後、心配で見に行きました。倒れそうな稲もあったけど、みんな元気でいてくれました。スタップの皆さんが、水を抜いたり、飛ばされそうな案内板を守ったりしてくれました。

### 黄金色に輝く田園で

こうして迎えた収穫の日。黄金色に衣替えた稲が、みんなでおじぎをしてみました。育ててくれてありがとうって。「サクサク」と気持ちのよい音で刈った稲を結んで、竹ざおに掛けて干しました。「自然の風に触れて、おいしいお米が出来るんだよ」と教えてもらいました。「昔の人ってほんとうになんでも知っているんだなあ」。

こうして出来た手作りのお米。色や形はいつも見るお米とは少し違うけど、おいしいはずだよ。

たくさんのお米が集まって、初めて収穫の喜びを味わえるんだね。いろんなことを教えてくれた田んぼの学校の皆さん、そして、自然の贈り物に……

—ありがとう—



重機で掘り起こして整地



300平方メートルほどの田んぼに



「泥んこ楽しい」と大喜び



雨のなかで元気に田植え

田んぼの学校プロジェクトチーム・代表  
のむらむつみ  
野村 睦さん  
錦町2丁目・44歳



「錦町に田んぼを復活させよう」を合言葉に、市制施行50周年記念事業の一環として、今年5月、14人で「田んぼの学校プロジェクトチーム」を結成しました。市内農家の皆様のご協力の下、子どもたちに自然のたいせつさを肌で感じてもらうと活動してきた日々のなかで、私たち大人も、たくさんのお米を学ばせてもらいました。



お日様の下で食べる新米。とびきりおいしいね



1粒1粒に思いが



おにぎりができたよ



足踏み式の農具で脱穀



全部で約130kgを収穫



働き者の案山子



カマキリ採れた



# 蕨市の財政事情

(平成20年度の決算・21年度上半期)

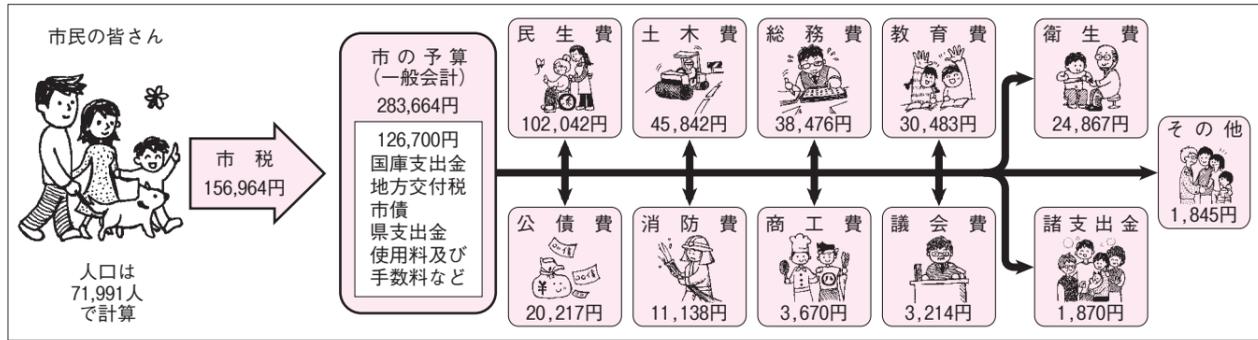
## 平成20年度一般・特別会計決算 (単位:万円)

会計名	予算額	収入済額	支出済額
一般会計	2,018,291	2,025,788	1,836,823
特別会計			
国民健康保険	696,416	691,498	675,561
老人保健医療	49,311	50,018	46,576
公共下水道	250,129	244,057	241,035
錦町土地区画整理	127,831	127,835	123,603
中央第一土地区画整理	2,041	2,041	1,892
介護保険	335,306	330,001	312,923
後期高齢者医療	63,182	60,995	60,465

## 平成20年度企業会計決算 (単位:万円)

項目	予算額		執行額	
	病院	水道	病院	水道
収益的収入	263,560	144,454	249,384	144,540
収益的支出	293,013	131,422	282,322	126,251
資本的収入	396	9,805	427	9,212
資本的支出	16,677	79,305	15,676	75,413

## (図①)平成21年度の市民1人当たりの市税と予算、その使いみち



## 平成21年度一般・特別会計上半期財政状況 (単位:万円)

会計名	予算額	収入済額	支出済額
一般会計	2,042,125	952,379	856,986
特別会計			
国民健康保険	711,700	344,621	328,120
老人保健医療	3,400	6,274	1,266
公共下水道	177,800	63,905	62,958
錦町土地区画整理	124,300	33,181	32,272
中央第一土地区画整理	2,100	1,149	789
介護保険	359,267	142,694	137,633
後期高齢者医療	65,000	24,876	21,626

## 平成21年度企業会計上半期の財政状況 (単位:万円)

項目	予算額		執行額	
	病院	水道	病院	水道
収益的収入	296,630	143,450	145,406	69,152
収益的支出	312,744	140,093	135,655	66,841
資本的収入	542	19,894	542	250
資本的支出	18,873	78,643	4,536	12,629

## 市債現在高

一般会計	特別会計	企業会計
120億3,463万円	98億5,002万円	45億5,577万円

※普通会計バランスシートは、算定方法変更のため、あらためて公表します。



壁が出来ていました。民家もまだ数軒で、写真左の方向を見ると川口駅北側にあったビール工場が望めたことを覚えています。今の写真は現在の様子です。10階建ての集合住宅が来年完成するそうです。※東公民館では、塚越の昔の様子が分かる写真展を22日まで開催しています。

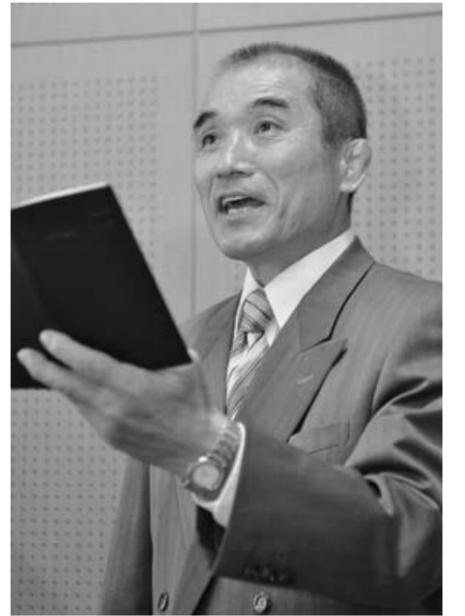
# 大好きな蕨を 相撲で盛り立てる

市制施行50周年を記念し、蕨のこれまで歩いてきた歴史が盛り込まれた「蕨」甚句の作者、林勝彦さんをご紹介します。

## 相撲で培った郷土愛

「はあく、どすこい、どすこい」と、独特の合いの手を頼りに、しみじみとした哀愁漂う歌詞を七五調で歌い上げる相撲甚句。冠婚葬祭やその土地の名所など、詞の内容が幅広いのも魅力の1つです。錦町5丁目にお住まいの林勝彦さん(65歳)は、蕨市が市制施行50周年を迎えた今年、教育委員会から依頼を受け、これまで歩いてきた蕨の歴史を甚句を作り直しました。

出来たばかりの蕨甚句を披露する林さん



## いきいきシルバーライフ

林さんは、体育協会の理事や吟剣詩舞連盟の会長など、多彩な分野で活躍されていますが、そのエネルギーが活動の源は少年時代に没頭した相撲にありました。昔から相撲が盛んだつた蕨は明治のころ「蕨八幡講」と呼ばれる草相撲の団体を組織し、大相撲と同様に、しこ名を持つた力士が活躍。その強さは近隣のまちまで鳴り響くほどでした。そんな強さにあこがれ、15歳のとき、中央4丁目、今の福祉児童センターの場所にあった相撲場の門をたたいた林さん。16歳、63キロと小柄な体格でしたが、相撲場に訪れる八幡講ゆかりの人たちに、血のじむような厳しいいけいけをつけてもらい、体格のハンデを乗り越え、めきめきと頭角を現しました。進学した蕨高校では、出し投げを武器に3年連続で全国大会に出場。大学では体重別のあるレスリングへと活躍の場を移

しました。が、蕨の相撲人気を盛り立てたいと、高校卒業後、相撲連盟に加入し、以来、ずっと運営に携わってきました。毎年5月に開催される蕨市少年相撲大会では審判部長を務め、ちびっこ力士が土俵上で練り広げる、熱戦を裁いています。1人でも多くの人に



第45回蕨市少年相撲大会(市民体育館)

この池は昭和12年に創立された、東洋精機(2年後に東洋精工と改名)後の日本製鉄工場の工場用地埋め立てのため掘られた跡に、わき水や雨水がたまってきた池です。現在の塚越4丁目16番周辺にあった工場の、南北と西側を「コ」の字型に囲むようにしてありました。昔の写真は、昭和35年に池の北側から線路に向かって撮影したものです。池にはフナやコイなどのほか、大きなウシガエルもいて、夜になると大合唱がこだましていました。この辺りは稲田や蓮の田んぼが広がり、秋にはあぜ道に干された稲で長い

さで、「蕨」甚句ですが、教育委員会から声がかかったとき、「相撲道を通じて育ててもらった蕨への恩返しに」と快諾。歌詞を作るにあたっては、相撲連盟会長の加藤隆義さんの協力の下、蕨の心意気を大事にしたいと、宿場町や機織りのまち、成年式発祥の地など、蕨が誇れる歴史を歌詞に盛り込

み、「50周年を契機に大好きな蕨がますます元気になるように」との思いを込めて作ったそうです。こうして出来た約6分の市制施行50周年記念・「蕨」甚句は、林さんご自身に歌ってもらいCDに収録。多くの人に聞いてもらいたいと、公民館、図書館に配布します。林さんの洪味のある声にのせて伝える蕨の歴史、ぜひ一度お聞きください。

語る人  
日本製鉄工場 周辺の池

鈴木昭夫さん  
塚越4丁目・79歳

蕨 いま むかし  
- 295 -



# 子どもクラブ

11月5日、塚越小学校で児童の手作りによるスポーツの祭典「塚小オリンピック」が開催されました。「ビー玉はこび」や「ペットボトルリング」など、低学年から高学年までのみんなが楽しめるようにと、3年生以上の児童が企画した競技は全8種目。焦れば焦るほど失敗する「かんつみ」に悔しい思いをした「強くてたかないでよ」と、ダンボールの中に隠れた児童の声が聞こえる「もぐらたたき」に笑い合ったりしながら、元気に競い合った子どもたち。楽しく体を動かし、学年を超えた交流をばぐくみました。

### 目指せ金メダル

保健師、助産師による赤ちゃんの身体計測・発育や育児についての相談  
赤ちゃんが産まれたら出生連絡票(母子健康手帳の最後のページに付いているはがき)をお送りください。※出生届提出後、地区の訪問指導員が訪問日程の調整などの連絡をします。

とき	対象児	受付時間・ところ
4 か月児健診 12月16日(水)・17日(木) 1月20日(水)・21日(木)	平成21年7月生まれ 平成21年8月生まれ	午後1時～1時45分 保健センター
1歳6か月児健診 12月8日(火)・9日(水) 1月12日(火)・13日(水)	平成20年5月生まれ 平成20年6月生まれ	
3歳児健診 12月11日(金)・18日(金) 1月15日(金)・22日(金)	平成18年11月生まれ 平成18年12月生まれ	午後1時15分～2時 保健センター
4歳6か月児健診 12月15日(火) 1月26日(火)	平成17年5月生まれ 平成17年6月生まれ	
1歳児相談 12月16日(水)・17日(木) 1月20日(水)・21日(木)	平成20年11月生まれ 平成20年12月生まれ	午前10時～10時半 保健センター

■保養施設利用助成制度/埼玉県国民健康保険団体連合会の指定保養施設が利用可能 対象＝蕨市国保か後期高齢者医療加入者で保険税を→

## 野菜作りのボランティア

### 優しさの「環境行動」

中央7丁目の菜園の一角で、地域ボランティアの皆さんが、子どもたちにダイコンやトウモロコシなどの育て方を教えています。これは中央・旭町・下蔵公民館の合同で行われている「ぶちトマトくらぶ」の自然体験教室です。この畑で採れる野菜はおいしいよと、子どもたちも太鼓判。それもそのはず、野菜作りに欠かせない良質の土壌を作るため、皆さんが虫に食べられたカブやイモの茎などを利用して堆肥を作り、土に返しているからです。「りっぱな野菜を採らせてあげたいからね」と、皆さんは、子どもたちの喜ぶ顔を楽しみながら、北風の吹くなか活動を続けています。

## わが家のアイドル

「両親ともにトロンボーンの演奏家という仕事柄、帰宅が不規則になることも多く、一颯はいつも近所に住むおじいちゃん家族のお世話になってるんです。そんな一颯のお気に入り、おじいちゃん愛用のコーヒーミ

いぶき 一颯ちゃん (1歳11か月)  
かとう ただあき 直明さん 加藤 直明さん 香菜さんの 長男  
中央3丁目 -454-

ルでみんなにコーヒー豆をひいてあげること。最近1人でなんでもできるという気持ち芽生えたようで、手助けを嫌がり、黙々と作り上げてくれるんです。まだ2歳足らずなのに頼もしい限りなんですよ」と、母親の香菜さん。

## 赤ちゃんメモ

(問) 保健センター (☎431・5590)

とき	対象	内容
12月8日(火)または15日(火)	平成21年8月生まれの第1子の保護者	母乳の進め方、離乳食の作り方、手と試食
1月15日(金)または27日(水)	平成21年9月生まれの第1子の保護者	場所は保健センター 託児=先着10人 持ち物=母子健康手帳、筆記用具、託児を希望される人はバスタオル、ビニール袋(おむつ持ち帰り用)、ほか必要な物

時間=午前9時45分～11時45分  
事前申し込みが必要で、対象児・赤ちゃんが産まれてから4か月健診の前月まで(第2子以降のお子さんも可)

とき	内容
12月18日(月)	妊婦 産科健診・保健
1月25日(月)	食生活・赤ちゃんの育て方
3月30日(土)	お産の経過・沐浴実習

時間はいつでも 午後1時半～4時 ところ=保健センター

●両親学級 持ち物＝母子健康手帳、問診票 ※対象月に受けられないときは翌月でも受けられます。

## 募集しています

### 市ホームページに掲載の有料バナー広告

市の自主財源の確保と、地域経済の活性化などを目的に、企業や個人商店を営む皆さんが、事業の宣伝をするためのバナー広告を、市ホームページに掲載できるようになりました。今月は、その概要と応募方法などについてお伝えします。

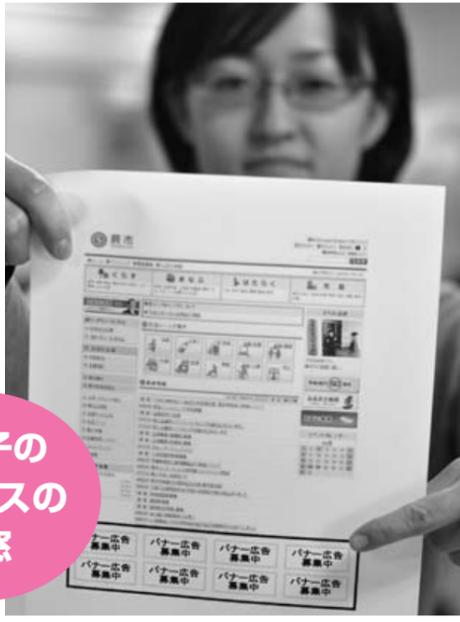
### インターネットを通じ事業所のPR

ワラビ またインターネットでお買い物? お母さん そうなの。大手検索サイトを見ていたら、興味をそそられる洋服屋さんのバナーが目に入っちゃってね。お母さん そうそう。最近いろんなホームページについているのよねえ。ワラビ お母さんの買い物が増えるわけだ。

### 3万人以上に宣伝ができるチャンス

お母さん そんなわけで、また買い物しちゃった。お父さん そっか。ところで、有料バナー広告の募集は蕨市でも始まったよ。お母さん そうなの? お父さん 事業者に売り上げアップの機会を提供し、税金や施設使用料などのほか、新たな財源を増やすことが目的なんだ。お母さん でも、たくさんの方が見るホームページじゃないと事業所も応募しないんじゃない? お父さん 蕨は月平均3万4000件のアクセスがあるそうだよ。

お母さん 詳しいのね。お父さん 市ホームページで詳細が分かったんだ。バナーの規格は縦60ピクセル×横120ピクセル。掲載の期間も毎月1日～末日の1か月(最長6か月まで継続掲載可)。掲載料は月額1万円。応募は市ホームページで取得できる蕨市有料広告掲載申込書とバナー広告画像を、掲載希望月の前月1日までに持参か郵送、Eメールで秘書広報課(☎433・7703)※掲載できない業種もあるので、まずは要綱をご確認ください。



### 親と子のニュースの小窓

### 50周年記念事業を紹介

#### ピンバッジ販売中

市のシンボルマーク(左写真)をかたどったピンバッジを販売中です。価格1個500円。販売場所＝市役所1階市民活動推進室(☎433・7745)、3階政策企画室(☎433・7698) ※数に限りがありますので、お早めにお買い求めください。

### 消火活動の協力に感謝

9月15日、塚越小学校敷地内のごみ集積所に放火と思われる火災が発生。近隣にお住まいの五十嵐助秋さん(72歳)は、この現場を目撃し、日ごろ植木の水やり用に取ってある浴槽の水をバケツにくみ取り、すぐさま消火活動に当たってくれました。そのおかげで火は燃え広がらず、大事には至りませんでした。錦町の消防本部では、この五十嵐さんの行動に対して、11月20日に感謝状を贈呈。高森和久消防長から表彰状が手渡されると、「とたわらび交通安全協会役員として、15年間、子どもの安全を見守ってきたが、こうした形でもお役に立ててよかった」と、五十嵐さん。ほんとうに、ありがとうございます。

### 市民団体の催し

●絵師岩佐又兵衛の生涯とその芸術/5日(土) 午後1時半 市民会館 入場料11000円(全席自由) 問い合わせ＝市民会館(☎45・7660)

●蕨市民ロードレース大会/6日(日) 午前8時半 第一中学校・大荒田ランニングコース周辺 主催＝蕨市体育協会

●むしパンコンサート/6日(日) 午後1時 東公民館 主催＝朗読ボランティアサークル「山びこ」

→完納している世帯の人 1泊大人3,000円 子ども2,000円(年度内2泊まで) 施設に予約後宿泊前に被保険者証を持ち医療保険課(☎433-7712)

# 輝いていまひと

全日本ジュニアボディビル選手権で第3位

岡田 勝成 さん



## 「目指すは世界一の肉体美」

だ

れにでも愛されるタイプで努力家と、中学生時代の同級生も称賛する「かつちゃん」こと岡田勝成さん（中央4丁目在住・20歳）は、10月12日に港区で開催された「全日本ジュニアボディビル選手権」で、みごと全国3位に輝きました。週5日のトレーニングを積み、ベンチプレスは200キ、スクワットでは300キのダンベルを上げてしまう強靱な肉体。そして、第3位と刻まれたトロフィーが、いつの間にか2つに割れていて

も、まったく気にせずニコニコとしている岡田さん。気は優しく力持ちの表現がびつたりです。柔道の補強トレーニングのために通い始めたジムで誘いを受け、高校生のころから参加するようになったボディビル選手権。出場に向けては筋力トレーニングばかりか、水分や皮下脂肪などを落とす減量との戦いが伴います。「5か月で30キほど落としたかな」と、岡田さん。立つのも歩くのもままならないほどの負荷に耐えながら、「これがボディビルの醍醐味」と、まるで極限状態を楽しんでいるかのようです。

でも、ひと度大会が終われば、酷使した体を休ませ、大好きな焼肉を軽く20人以上食べて、栄養もじゅうぶんに補給。そのため上写真の岡田さんは、大会時と比べてふっくらとしているようですが、胸や腕などは御覧のとおり筋肉隆々。近いうちに、究極の肉体と優勝カップを手にしてほえている岡田さんの姿が、容易に想像できました。

## わらびの野鳥・虫・草



### アジアイトトンボ

先月号で市民公園のカワセミを紹介しましたがその続きのお話です。

池でカワセミを待つているとき、ふと見上げると、桜の木の枝になんやら生き物を発見。望遠レンズでのぞくと、緑色で

竹のような節のあるトンボでした。調べてみると、アジアイトトンボのメスと判明。名前のとおり木の枝よりも細い、糸のような体のトンボで体長は3センチほど。日本全国、春先から秋まで見られるそうですから、皆さんも、きつとどこかで出会っていたかもしれないですね。

## ぷらっと・わらび・小さな旅

今月5日は

### 「保育展」

みどり保育園では、園児たちの描いた絵や工作などの作品を通じて子どもたちの豊かな感性や成長のあかしを、保護者や地域の皆さんに見ていただくようと、今年1回、「保育展」を開催しています。例年、公民館で開かれる同展ですが、13回目を迎える今回は、「保育園を丸ごと見てい

ただきたい」と、今月5日に園内で開催。この日のために各クラスで作った共同制作はどれも力作ぞろい。また、当日は離乳食のサンプルや先生が選ぶ「年齢別お勧めの本」など、育児の参考になるコーナーも。ほかにも、園庭では親子で楽しめるミニシアターや園児のお父さんによる「焼き芋コーナー」など、楽しい催しも盛りだくさんです。皆さん、ぜひ遊びに来てくださ



保育展に向けて工作をするらいおん組の園児たち